

令和6(2024)年度日本歴史研究コース授業計画

授業名	日欧政治交渉論			
担当教員	福岡万里子			
授業概要	近世から19世紀にかけての日本と欧米・東アジアの関係について、具体的な文献や史料を素材として、日本や東～東南アジアの海域を舞台に展開した多様なアクターの相互関係／国際関係に注意を払いながら考え、議論する。大航海時代から近世近代転換期までの数百年を範囲として、受講生の興味関心に応じてトピックを選ぶ予定。授業は演習形式とし、関係する文献や史料を講読し、批判的に吟味しながら進める。			
教育目標・目的	日本は日本を見ていただけでは分からない。対外関係史はなおさらそうである。本演習では、日本を国際関係の中に位置づけて相対的に考える視角を養うことを目指す。また文献であれ史料であれ、テキストを正確に、深く理解し、本質的な論点を抽出する方法についても体得を目指す。			
成績評価	授業への参加貢献度(50%)、報告(50%)による。			
授業計画	1. イントロダクション	9. 史料の講読・議論(4)		
	2. 文献1の講読・議論(1)	10. 文献2の講読・議論(1)		
	3. 文献1の講読・議論(2)	11. 文献2の講読・議論(2)		
	4. 文献1の講読・議論(3)	12. 文献2の講読・議論(3)		
	5. 文献1の講読・議論(4)	13. 文献2の講読・議論(4)		
	6. 史料の講読・議論(1)	14. 総合討論		
	7. 史料の講読・議論(2)	15. 個別研究発表		
	8. 史料の講読・議論(3)			
実施場所	教員研究室／共同利用研究室	使用言語	日本語、英語	
前期・後期の別	前期・後期・通年	対象年次	3, 4, 5	単位数 2単位
教科書・参考図書	文献は受講者の関心・希望も踏まえつつ選定する。 参考図書：桃木至朗編『海域アジア史研究入門』(岩波書店、2008年)			
備考				